



平成31年2月1日
総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
総合政策局海外プロジェクト推進課
土地・建設産業局国際課

大塚国土交通副大臣のタンザニア連合共和国及びケニア共和国出張の結果概要 ～「第2回 日・タンザニア官民インフラ会議」の開催等～

大塚国土交通副大臣は、我が国の「質の高いインフラ投資」推進のため、1月6日から11日まで、タンザニア連合共和国及びケニア共和国を訪問しました。

タンザニア連合共和国 （会議等の概要は別紙1を参照）

大塚国土交通副大臣は、TICADVI^(注)の成果を踏まえ、我が国の「質の高いインフラ投資」のタンザニア展開を支援することを目的に、アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)企業24社約50名、官民合計約70名を同行してタンザニア連合共和国を訪問し、同国政府と共催で「官民インフラ会議」を開催しました。

ケニア共和国 （会議等の概要は別紙2を参照）

ケニアにおいては、オブレ運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業副大臣との会談を通じ、両国共同でケニアの「質の高いインフラ」整備を促進するため、更なる知識及び経験の共有を図ることにより、両国の協力関係を更に深めていくことで合意しました。

官民インフラ会議の様子



(注)TICAD: Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)の略。アフリカの開発をテーマとする国際会議。TICADVI(第6回アフリカ開発会議)は、2016年8月にケニア・ナイロビにて開催。TICAD7は、2019年8月に横浜にて開催。国土交通省は、同会議において、「日・アフリカ官民インフラ会議」を主催予定。

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 藤田、入江(内線25205、25216)
TEL 03-5253-8111、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562

1. 第2回 日・タンザニア官民インフラ会議(1月8日)

- (1) 日時：平成31年1月8日(火)
- (2) 場所：タンザニア連合共和国 ダルエスサラーム市内
セレナホテル内会議室
- (3) 主催：(日本側)国土交通省
(タンザニア側)建設・運輸・通信省
- (4) 参加者：官民合計で約200名
(日本側の主な出席者)
国土交通省(大塚国土交通副大臣、北村建設流通政策審議官)、
在タンザニア大使館(後藤大使)、清水建設 宮本会長(JAIDA 会長)、
フジタ 奥村社長(JAIDA 代表)、酒井重工業 酒井社長を含む日本企業
(アフリカ・インフラ協議会会員の建設、コンサル、商社、メーカー等 24社) 他
(タンザニア側の主な出席者)
カムウェルウェ建設・運輸・通信大臣、チャムリホ運輸次官 他
(トルコ側の主な出席者)
オズテュルク トルコ貿易省 フリーゾーン・海外投資・サービスセクター局長 他

(5) 概要:

① 主催者挨拶

両国を代表して大塚国土交通副大臣、宮本アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)会長、カムウェルウェ建設・運輸・通信大臣より挨拶を行いました。

<大塚国土交通副大臣の挨拶概要>

「今回、タンザニア政府のご尽力により、官民インフラ会議を開催できたことに感謝。タンザニアの更なる経済発展や都市化の進展に対応するためのインフラ需要は強いものと認識。日本の強みはアフリカの皆様と一緒にインフラを整備し、安全管理、施工管理、品質管理などの技術移転も進めることにあることから、TICAD7に向けて「MADE WITH JAPAN」を特に提唱してまいりたい。

また、今回の会議ではトルコ政府関係者・建設協会・建設企業にも参加をいただいております。パートナー国として大変心強い。本年8月末、我が国の横浜市にてTICAD7が開催されるが、国土交通省としてもインフラに焦点を当てた「日・アフリカ官民インフラ会議」を8月27日に開催予定。今回の会議を成功裡に収め、大臣をはじめ皆様と横浜でお会いできることを楽しみにしている。」



大塚副大臣とカムウェルウェ大臣



官民インフラ会議の様子

② セッション1: アフリカへの質の高いインフラ支援

国土交通省の北村建設流通政策審議官をオーガナイザーとして、両国は、JICA が策定を支援した「ダルエスサラーム都市交通マスタープラン」や、タンザニアが策定中の「首都ドドマにおけるシティ・マスタープラン」について、計画の概要を確認するとともに、両国の官民双方の意見交換が行われました。また、日本企業より我が国の技術・経験について紹介し、質の高いインフラへの理解促進を図りました。

更に両国は、本年8月のTICAD7において開催を予定している「第2回 日・アフリカ官民インフラ会議」において、両国のインフラ分野に関する連携を更に深化させることで一致しました。

③ 議事録署名式

北村建設流通政策審議官は、チャムリホ運輸次官との間で「第2回 日・タンザニア官民インフラ会議」における意見交換の結果を議事録にとりまとめ署名しました。



議事録署名式

(北村建設流通政策審議官とチャムリホ運輸次官)

④ セッション2: タンザニアにおける質の高いインフラ開発支援に向けたトルコとの連携

日本企業及びトルコ建設協会・建設企業から建設技術等についての紹介がなされ、日本の質の高いインフラ技術や、日本・トルコの効果的な連携等について、開催国タンザニアの政府及び企業の理解促進が図られました。



セッション2の様子

2. タンザニア連合共和国政府要人とのバイ会談(1月8日)

大塚国土交通副大臣は、カムウェルウェ建設・運輸・通信大臣と会談を行い、今回の官民インフラ会議の成果等を踏まえ、「質の高いインフラ」についての両国間の認識を共有するとともに、インフラ分野における官民一体となった協力関係を強化することで一致しました。

また、本年8月に横浜市で開催されるTICAD7への参加を呼びかけるとともに、道路改修事業についてのトップセールスを実施しました。更に、宮本JAIDA会長からタンザニアのインフラ整備への協力について表明を行うとともに、同席したJAIDA会員企業からも各社の経験や技術について紹介がなされました。



カムウェルウェ建設・運輸・通信大臣との会談

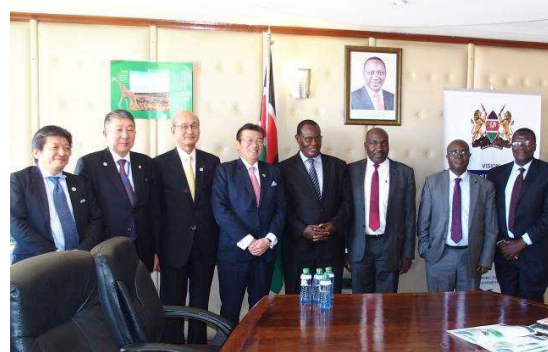
カムウェルウェ大臣からは、日本並びにトルコの訪問団を歓迎するとともに、同国の成長のために民間セクターの参画が不可欠と述べました。また、我が国によるタンザニアへの支援を通じて、現地人材開発やキャパビル面が強化されることへの期待が述べられました。

1. ケニア共和国とのバイ会談(1月9日)

大塚国土交通副大臣は、オブレ運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業副大臣との会談を通じ、両国共同でケニアの「質の高いインフラ」整備を促進するため、更なる知識及び経験の共有を図ることにより、両国の協力関係を更に深めていくことで合意しました。

また、本年8月に横浜市で開催される TICAD7への参加を呼びかけるとともに、モンバサ港周辺の道路や橋の事業についてトップセールスを実施しました。更に、宮本 JAIDA 会長からケニアのインフラ整備への協力について表明を行うとともに、同席した JAIDA 会員企業からも各社の経験や技術について紹介がなされました。

オブレ副大臣からは、日本の訪問団を歓迎するとともに、インフラをはじめとする様々な分野での我が国による支援に感謝を述べられました。特に、我が国が支援する様々な道路事業に触れ、渋滞緩和や道路状況改善に寄与している旨述べられました。TICAD7 へ参加の意向を示すとともに、ケニアの観光分野にも触れ、日本からの渡航者や投資を増加させるための協力について期待が述べられました。



オブレ運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業副大臣とのバイ会談

2. 質の高いインフラセミナー(1月9日)

インフラ整備事業に関心を有するケニア・トルコ企業等と日本企業とのインフラセミナーを開催しました。

冒頭、北村建設流通政策審議官から、日本の質の高いインフラ技術や、日本・トルコの効果的な連携等について紹介を行い、続いてケニア運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業省のコリール インフラ担当次官及びトルコ貿易省のオズテュルク フリーゾーン・海外投資・サービスセクター局長からケニアにおけるインフラ投資等への期待について挨拶がありました。

セミナーにおいては、日本企業から建設技術等についての紹介がなされ、更に、ビジネスマッチングの機会を通じて、日本企業とケニア・トルコ企業等との間で活発な情報交換を行い、関係構築を行いました。



セミナーの様子

3. トルコとのバイ会談(1月9日)

北村建設流通政策審議官は、トルコ貿易省のオズテュルク フリーゾーン・海外投資・サービスセクター局長と会談を行い、これまで4度に亘り開催してきた「日本・トルコ建設産業会議」の継続的な開催に加え、引き続き第三国においてもセミナー及びビジネスマッチングを通じ、両国企業の連携強化を図ることで一致しました。



バイ会談の様子